



聴覚過敏が良くなるとうなるか？

～SSP、サウンドセラピー、RDIからのアプローチ～

神経可塑性研究やポリヴェーガル理論が注目を集めていますが、「脳はいかに治癒をもたらすのか」(ノーマン・ドイジ著) 第8章「音の橋」に登場するサウンドセラピーについて学ぶ機会を設けました。聴覚刺激がどのように脳に働きかけるのか、特に発達障害の子どもやトラウマを抱える人の聴覚過敏にサウンドセラピーがどのような効果をもたらすのかについて、先駆的実践者である菅原靖子先生にお話を伺います。子どもたちが聴覚刺激によってどのように安定し、才能を開花させていくのかをぜひお聞きください。

こころのげんき株式会社／ながら心理相談室 臨床心理士・公認心理士 堀 恵子

開催日： 2020年1月12日(日) 13時15分～16時45分(13時開場)

場所：OKB ふれあい会館 403会議室

岐阜市岐阜県岐阜市藪田南5丁目14番53号 058-277-1111 <https://www.gifu-fureai.jp/>

講演：「聴覚過敏が良くなるとうなるか～SSP、サウンドセラピー、RDIからのアプローチ～」

講師：菅原靖子先生(臨床心理士・公認心理士、横浜関内自閉症専門カウンセリングルームPYC子育てラボ代表)

参加資格：対人援助職(医師、臨床心理士、公認心理士、作業療法士、教師、保育士、特別支援員など)

定員：30名(先着順)

参加費：4,000円

申し込み方法：タイトルを「菅原先生研修会申込：ご自分の氏名」として、氏名、勤務先、職業、メールアドレス、携帯電話番号を明記のうえ、メールあるいはFAXにて下記にお申込みください。

お申込み先：こころのげんき株式会社 info@kokoronogenki.com FAX 058-295-6703

SSP(Safe&Sound Protocol) ポリヴェーガル理論に基づき、迷走神経を刺激することで聴覚過敏ほかを改善するサウンドセラピー。

ヒアリングセラピーと感覚統合 トマトニスと、トマトニスを源流とするiLS統合リスニングシステムについて。耳周辺から小脳などの大脳皮質下への刺激と骨導が脳の可塑性を拓く。

RDI 認知発達理論をもとにしたアンチ行動理論。「感じ、考え、自分の意志で動く」過程重視。自閉症スペクトラム症ケアのペアレントトレーニング+コミュニケーションと認知発達を連動したプログラム。

菅原靖子先生ご略歴：

1988年 東京外国語大学外国語学部スペイン語学科卒業後、10年間教員として勤務。2000年にボストン大学大学院教育学部カウンセリング心理学専修卒業(同時期、マサチューセッツ州などでスクールガイダンスカウンセラー)。日本に帰国して、心療内科を中心に勤務。

2009年、RDI®認定コンサルタント資格取得。「PYC子育て支援ポータル」設立。

2016年、iLS統合リスニングシステムトレーニング 資格取得・導入。2017年、SSP資格取得・導入。2018年、SSP臨床研究が岡山大学医学部で行われる。2019年、「PYC子育てラボ」に改名。



こころのげんき株式会社

〒502-0813 岐阜市福光東3-3-12 TEL&FAX 058-295-6703

ながら心理相談室